

# 令和4年度 郡市医師会妊産婦・乳幼児保健担当理事協議会 関係者合同会議

と き 令和4年9月1日(木) 15:00～15:40

ところ ホテルニュータナカ2階「平安の間」(ハイブリッド開催)

[報告:常任理事 河村 一郎]

## 会長挨拶

加藤会長 新型コロナウイルス感染症第7波の大変な状況の中にもかかわらず、会場及びWebにてご出席いただき、感謝申し上げます。

この会議は、予防接種の県内広域化を目指して始まったわけだが、現在は予防接種だけではなく、乳幼児、妊産婦の健診も含めての合同協議会となっている。

予防接種はワクチンで防げる感染症の発生及びまん延防止の観点から非常に重要であることから引き続き実施する必要がある。また、乳幼児健診は子どもの健やかな成長のために一番必要な時期に受けていただく必要があると考えるので、実施については新型コロナウイルス感染症への感染防止に係る適切な対応を講じた上で、引き続きご協力いただくよう、よろしくお願いする。

## 協議事項

### 1. 県からの報告

健康増進課 子宮頸がん予防ワクチン接種については、令和4年4月から積極的勧奨による定期接種及びキャッチアップ接種を進めることとなっている。県医師会には独自でポスター及びリーフレットを作成・配付いただいております。また、夏ごろには加藤会長が記者会見において、その重要性を広く県民に周知されるなど積極的に取り組んでいただいております。市町の取組状況については、県内すべての市町において標準的な接種年齢である中学1年生及び定期接種の上限になる高校1年生に相当する方及び保護者に対して接種の積極的勧奨を実施していただいております。接種状況については本年11月ごろに国の調

査が行われる予定になっており、4月から9月までの半年間の実施状況を取りまとめることになるので、その際には市町にもご協力をお願いしたい。県の具体的な対応としては、県政放送並びに県の広報誌を活用して普及啓発を行っており、今後も県医師会や市町と連携して接種率の向上に努めていきたい。

麻しん風しん予防接種実施状況は、令和2年度の第1期(生後12～24月)は98.8%、第2期(小学校就学前1年)は94.0%であり、昨年度は第1期が93.4%、第2期が95.5%となっている。麻しん風しんの予防接種は国が目標と定める接種率が95%となっているので、今後も高い接種率の維持に努めてまいりたい。

風しん検査事業について、先天性風しん症候群の発生を防止するため、妊娠を希望する女性等の中で、風しんの免疫がない方に風しんワクチン接種を促進することを主な目的として実施している。実施方法は平成30年度までは保健所のみで対応していたが、平成31年度(令和元年度)からは窓口を広げて保健所と医療機関の2本立てで実施している。対象者は次のすべての要件を満たす者となっている。

1) 検査日時点で、山口県内(下関市を除く)に居住し、次の①、②、③に該当する者

①妊娠を希望する女性<sup>\*1</sup>

②妊娠を希望する女性又は妊娠中の女性の配偶者<sup>\*2</sup>

③妊娠中の女性の同居者<sup>\*3</sup>

※1 妊娠中の女性は、対象外とする

※2 「配偶者」については、事実上、婚姻関係と同様の事情にある者(パートナー)も含む

※3 妊娠中の女性が十分な免疫を保有してい

- ない場合の同居者に限る
- 2) 過去に風しん抗体検査(妊婦健康診査等を含む)を受けたことがない者
- 3) 風しん含有ワクチンの接種歴がない者
- 4) 風しんの既往歴(検査診断による)がない者

また、風しん第5期定期接種の対象者(※昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に

生まれた男性)は市町で実施する定期接種にかかる抗体検査が活用できるので、この事業では対象外になっている。実施方法は医療機関及び健康福祉センター(防府保健所含む)で風しん抗体検査(1回)を実施し、抗体価が低い方に対し、風しんの予防接種に関する説明及び指導を行い、任意の予防接種を受けることを促す。委託料はHI検査4,930円(税抜)、その他の検査6,320円(税抜)

出席者

郡市医師会担当理事

大島郡	川口 寛 (Web)	宇部市	松岡 尚	岩国市	岩崎 淳 (Web)
玖珂	松井 晶子 (Web)	山口市	吉兼 隆大	山陽小野田	砂川 新平
熊毛郡	竹ノ下由昌 (Web)	萩市	花宮理比等 (Web)	光市	北川 博之 (Web)
吉南	元山 将 (Web)	徳山	大城 研二 (Web)	柳井	志熊 徹也 (Web)
美祢郡	竹尾 善文 (Web)	防府	藤原 元紀	長門市	須田 博喜
下関市	岩井 崇 (Web)	下松	井上 保 (Web)	美祢市	横山 幸代 (Web)

山口県産婦人科医会

会長 藤野 俊夫

山口県小児科医会

会長 田原 卓浩

オブザーバー

岡田 和好

県健康福祉部

健康増進課 副課長 大西 徳生  
 こども政策課 主任 河田 寛子  
 保健師 大谷 愛

県医師会

会長 加藤 智栄  
 常任理事 河村 一郎  
 常任理事 縄田 修吾

市町担当者

下関市健康推進課 主任	井上 幹晴 (Web)	柳井市健康増進課 主査	霜野 智治 (Web)
健康推進課 主査	吉永 三津 (Web)	健康増進課 主任	藤山 愛 (Web)
宇部市健康増進課 主任	藤井華奈江	美祢市健康増進課 主任	山田 英里 (Web)
こども支援課 係員	森田 貴志	健康増進課 副主幹	末永 直美 (Web)
山口市健康増進課 主査	松浦 辰朗	周南市健康づくり推進課 主査	皆田志津子 (Web)
子育て保健課 主幹	中谷 智子	あんしん子育て室 室長補佐	宮崎 優子 (Web)
萩市健康増進課 主任	塩満ゆかり (Web)	山陽小野田市健康増進課 係長	山本真由実
防府市健康増進課 主査	植田 恭史 (Web)	周防大島町健康増進課 主査	濱岡 聡 (Web)
下松市健康増進課 係長	古田 真也 (Web)	健康増進課 主査(保健師)	石原 憲子 (Web)
健康増進課 課長補佐	伊本由美子 (Web)	和木町保健相談センター 保健師	應和麻悠子 (Web)
岩国市健康推進課 班長	上田 晶久 (Web)	上関町保健福祉課 係長	村谷 香織 (Web)
健康推進課 班長	柴田千賀子 (Web)	田布施町健康保険課 係長	吉光 恵美 (Web)
光市健康増進課 係長	小熊紀美恵 (Web)	健康保険課 主任	平仙 絵美 (Web)
長門市健康増進課 主査	大田由紀子 (Web)	平生町健康保険課 班長	関永 幸枝 (Web)
健康増進課	和田 明莉 (Web)	阿武町健康福祉課 主任	長岡ひとみ (Web)

である。郡市医師会におかれては、前月分の実施状況を受託医療機関ごとに、「風しん抗体検査受託医療機関別報告書」（様式第2号）に集計し、「風しん抗体検査費請求書」（様式第3号）及び取りまとめた「風しん抗体検査受診票（山口県）B保健所用」（前月分）とともに、月末までに管轄の健康福祉センター（保健所）へ提出していただきたい。なお、風しんの第5期定期接種は集団免疫の獲得を目的としているものであるが、妊娠を希望する女性の方などは個人予防として妊娠中に風しんに罹らないよう、より確実な予防が推奨されるので、抗体価の基準をより厳しくしており、風しんの第5期定期接種と県の事業のどちらにもご協力いただいている先生方にご注意いただきたい。

**田原小児科医会長** 接種率を高く維持するために山口県小児科医会としても啓発していく必要があるが、その際にわれわれへのご要望・ご意見等があれば教えていただきたい。

**県健康増進課** やはり患者さんが受診された際に先生方から予防接種の重要性について直接ご説明等いただくのが最もよい方法だと考えているので、よろしくお願ひしたい。

## 2. 令和5年度妊婦・乳幼児健康診査における参考単価（案）について

**河村** 参考単価（案）を県医師会で作成し、山口県産婦人科医会及び山口県小児科医会にも検討いただいた上で、事前に郡市医師会及び市町に提示した。なお、妊婦健康診査の参考単価については、令和4年度の診療報酬改定に伴い、点数が一部変更になったため、金額も変更になっている。郡市医師会と市町とで協議した結果、妊婦健診及び乳幼児健診ともに了承いただいた。

## 3. 妊婦健康診査について

**藤野産婦人科医会長** 令和4年度の診療報酬改定により来年度については若干、金額の変更があるが適切に行っていくのでよろしくお願ひしたい。

## 4. 乳幼児健康診査について

**田原小児科医会長** ウィズコロナの時代を見据えて、乳幼児の健康管理の重要性がさらに増してくることから、各自治体のご理解をいただきながら、これまでと同様のシステムで進めていただくことになるかと思うが、8月末に福岡で開催された日本外来小児科学会年次集会でも成育基本法に則って生後から切れ目のない健康管理について改めて論議されたところである。その中で、生後2週間、1か月、2か月の児・保護者に対して十分にケアが行き届かないということが重要な論点になっていた。山口県が遂行している1か月健診を小児科医が行うことは全国的にも高い評価を受けているので、これを堅持していきたいと思っている。2週間健診については地域によって小児科医と産科医との協働ができていますので、この点についても産婦人科医会のご理解・ご協力を得ながら是非々々で山口県全域に進めていきたい。国庫負担で行われている乳幼児健診の回数については、3歳半までを含めて5回と非常に少なく、妊婦健診の14回に近づけるように日本小児科医会等からも毎年要望しているが、ぜひ実現できるよう、皆様方にもご議論・ご支援いただければと思っている。

## 5. 令和4年度広域予防接種における高齢者インフルエンザ予防接種について

**河村** 県医師会から各市町へ接種料金、接種期間等を調査した。接種期間は全市町で10月1日から令和5年2月28日まで、接種料金は全市町が4,950円、自己負担額は上関町のみ「自己負担なし」で残りの市町は1,490円、阿武町では75歳以上で後期高齢者医療被保険者は無料となっている。

**田原小児科医会長** 今秋は、インフルエンザとコロナ感染症の同時流行が予想されており、国やメディア等でも度々取り上げられているが、山口県においても、県及び県医師会から啓発していただければ有り難い。インフルエンザに関しては2シーズン流行しなかったこと、オーストラリアの流行が早く始まっていることから、早い時期からの接種を勧奨することも含めて繰り返し啓発していただきたい。

河村 インフルエンザワクチンとコロナワクチンの同時接種が可能である点を周知していただきたい。

#### 6. 令和5年度広域予防接種における個別接種標準料金（案）について

河村 個別接種標準料金（案）を県医師会で作成し、山口県小児科医会にも検討いただいた上で、事前に郡市医師会及び市町へ提示した。なお、令和4年度の診療報酬改定に伴い、点数が一部変更になったため、金額も変更になっている。郡市医師会と市町とで協議した結果、全市町で了承いただいた。

#### 7. 風しんの追加的対策について

河村 2025年3月31日まで実施期間が延長された標記対策について、令和5年度の個別接種標準料金（案）を県医師会から郡市医師会及び市町へ提示した。なお、令和4年度の診療報酬改定に伴い、点数が一部変更になったため、金額も変更になっている。郡市医師会と市町とで協議した結果、全市町で了承いただいた。

#### 8. HPVワクチン接種について

河村 本会では令和3年度にポスター並びにリーフレットを作成し、女子中学生に配付したが、内容を一部変更したものを今年4月に作成し、中学1年女子、高校2年女子、及び3年女子に配付した。ポスター並びにリーフレットは在庫があるので、追加での配付をご希望の場合は、県医師会事務局までご連絡願いたい。

#### 9. 県医師会母子保健委員会について

河村 6月2日に開催した標記委員会において、産婦人科医、小児科医、精神科医が要保護児童対策地域協議会に参加できるよう県に要望してほしいとの依頼があったので、よろしく願いたい。

県子ども家庭課 担当課に申し伝える。

#### 10. その他

##### (1) 令和4年度児童虐待の発生予防等に関する研修会について

河村 11月6日（日）に開催を予定している。詳細は後日通知する。

##### (2) 令和4年度山口県医師会学校医研修会・学校医部会総会・予防接種医研修会・学校心臓検診精密検査医療機関研修会について

河村 12月4日に開催を予定しており、予防接種医研修会の講師は東京都府中市にある崎山小児科の崎山 弘先生に依頼している。詳細は後日、郡市医師会へ通知する。

##### (3) その他

藤野産婦人科医会長 7月21日付で厚労省から「新生児聴覚検査費に係る受検者の経済的負担の軽減について」が発出された。当該検査については、これまで一般財源の中で行われていたが、今回、同通知において「新生児聴覚検査費」と銘打って、市町村の標準団体（人口10万人）当たり935千円が計上されており、当該検査費用の公費負担について積極的に取組み、受検者の経済的負担の軽減を図るようにとのことであり、また、今後継続的に実態調査を実施するとのことなので、市町において検討されるようお願いする。

河村 現在は自己負担で行われているところが多いと思うので、私からもぜひともご検討いただこう、願います。

田原小児科医会長 1歳半健診あるいは3歳半健診については個別健診と集団健診の二本立てで行われているが、現在、コロナの第7波がピークを迎えており、集団健診の場において有効な感染予防策として何か取り組まれていること及び課題があれば共有できると幸いである。例えば山口市においては、有効的な換気を行うことの実効性がなかなか難しいということを現場で検証した。後日で結構なので、市町から情報提供していただきたい。